

施設マネジメント室（平成１７年度：第３回）

日 時 平成１７年７月２１日（木） 午前１０時３３分～１１時２５分
出席者 望月事務局長、石井哲士朗（外国語学部）、水野善文（外国語学部）、
豊島正之（ＡＡ研）、宮城徹（留日セ）、
清水施設課長、宮本施設課課長補佐 以上 ７名

報告事項

最初に配布資料の確認（宮本補佐が説明）

局長：１時間の予定で開きます。

前回の議事要旨について、異論がないようですので承認いただけたとします。

続いて、１８年度の概算要求について施設課長から説明を。

清水：重点事項は１件 総合情報コラボレーションセンター

今後の審査は文部科学省の審査のほか、第三者機関による外部評価を行われ、８月末頃に結果が出ると思われる。

局長：施設整備費は非常に厳しい現状にあるのでそうすぐに予算化されることは難しい面もある。

局長：戸田合宿所の改修について、昨年からＯＢから寄附の話が出ている。

女子部員の拡充による。

昨年３００万既に寄附されている。

目標が１９００万として寄附を進めている模様であり、今年度中に施工を希望している。

モノとなるか金の形になるかは不明だが。

清水：女子学生のセクハラ防止の意味、ミーティングスペースの拡充の２点から。

あくまでこれは案にすぎない。今後の変更もありうる。

既存施設と改修案

室長の説明にもあったとおり、寄附（金）を受けてか、施工を行っての物納となるか

局長：最近、ボート部の活躍が顕著である

年１回、大学としてボート大会を行っているので大学全体のものとしてとらえることも

宮城：ボート部の歴史は知らないが、それは大学の施設として誰もが使えるのか？

もしそうでないなら、１部に過ぎないのに予算措置をするのはどうか。

他にもそうした施設として必要なものもあるのでは？

局長：当然、そういう意見が出ると学長も了解している。

2000万近いお金を外部の人が用意しているのもあって問題はないかと
今までは男子学生専用の施設でもあり、施設の使い勝手もある
寄附される以外のお金については

水野：教え子に。あまり住み込みでいる人数は少ないとも聞いている。

どうせ、整備するのならいいものを整備したいと。

局長：ピークで40人。だが常時いるとは限らない。

清水：OBの方は大学の方が都心に拠点を持てるようにと。

ボート部が占有のものであると勘違いしないように今後は指導していく必要があるかと。

局長：続いて、中期計画について宮本補佐から説明を。

宮本：中期計画（案）について資料に基づき、説明。

局長：16年から法人化になり、中期計画が作られ、毎年度年度計画を
年度が終わると文部科学大臣に報告を行い、評価がされる。
実態的に大学全体として対応
例えば、概算要求のような既に提出済みのものは出したという評価になるが
野外環境整備の企画立案というのは
あとで会議の予定を
ご協力をよろしくお願ひしたいと。
皆さん方の意見を

宮城：確認したい

概算要求に出した

中期計画の年度内でそれは無理だと判断する、それはどうする？

局長：中期計画の変更となるかと。

それが通るか通らないかと。

中期計画は提出済みなので

年度計画はそれが実施出来なければ

実は間違えましたというのもあった。

ここに整理されている事項であれば

宮城：235の危機管理体制の

センターでも問題になったけれども

どこがどういう

他の全体との、組織とのまとめはどこがやっているのかわからない

清水：

局長：連絡網は出来ているんだよね？

清水：事務のは出来ている

私案であるが、災害対策本部というかたちで何かを

しかし、新たな組織を作るというのも負担になるのでそれを考慮して

局長：災害対策マニュアルは出来ている

宮城：誰かがそれをやってくれといわないと

センター長は誰かが言わないと待ちましょと

留学生課長も

局長：それだと何も出来ないですね

館長がいるので館長が考えないといけない

宮城：それを学長なりが言っていたかないとすすまない

豊島：課長が言われたように本部を設置した方がいいかと

ソフト的にはあるが

目に見える形で連絡

局長：この間のはそうなっているんでしょう

豊島：本部が常置されているんですか？

局長：いや

豊島：さきほどのでは常置的に

局長：大きな違い？

豊島：大きいかと

清水：実行部隊の力が足りない

局長：他の大学は年に1回か2回かやっている

意識が足りない

早く10月に

豊島：意識を変えるには常設がいいかと

局長：それはよい方法で

それよりも部局長さんが他から言われないとというのは

宮城：やり方がわからないから

局長：よく記録して役員会に室として報告したいと思います

報告は以上

審議事項

局長：駐車場について宮城先生から

宮城：前回も言ったが、図のとおり、留日センターが4台使っている。

不足気味

ちょっと簡単な調査をしたところ、木曜日の非常勤の先生が来る日は足りず、路上駐車をしている。

先生がたから「どこに?」「駐車スペースの確保を」

局長：施設課長のお話の前に、キャンパス全体の駐車場のあり方として検討するのがいいかと。

計画的に整備したのに、安易にいじると

自転車の駐輪場の問題も含めて検討出来ればいいかなと。

ここに限っていえば

清水：路駐（縦列駐車）する場合にはどこがいいかという事例（赤）

ポケットパークがありますが、室長から消防用の活動用地ではないかと指摘があったのでこれは再確認します。

局長：経費のことを考えずに検討するとすれば

一般の道路に有料のスペースが

場所を確保するというか、邪魔にならない 可能性はいろいろある

大学全体のこととして

今日ここで結論を出さずに自転車も含めて検討したらどうかと

個人的な考え 他の大学はゲートで有料している

地域住民に迷惑をかけているところが多くある

本学の場合、そういうことがいまのところない
学内だけで処理できるかと
緊急車両の邪魔にさえならなければ
曜日によっては多少はみ出ている

局長：日程についてあらためて聞くでいいですね

清水：何かお気づきの点、あれば随時連絡をいただければ

局長：先生方は都合は大丈夫？

水野：この間、教授会で美術品の寄贈の申出があったのが出ない
ここで出ないのはなぜ？

清水：研究講義棟テラスを希望している
まず管理している学部長へ伺いをしてからと話を通した
学部長からもう少し待ってほしいと

水野：否定的な意見ですけど

清水：馬場先生にもお話してある

局長：相手の条件が絶対条件かどうか

水野：

石井：作品そのものは見えます？

清水：写真で見ている

石井：むきだし？

清水：お話はしてる
最初はむきだしでという話
もし設置するとなればケース、固定が必要かと
学部長

清水：あとハトのフンをかけるのは？

水野：とうとうに教授会に資料が出るのはどうかと

石井：この間は非常に具体的な見積も

局長：それは学部の

清水：馬場先生から

豊島：いまハト対策してないの

水野：全体の問題

豊島：A A 研は昨年

局長：テラスの掃除をすると

水野：日常、支障があると施設課HPへどうぞと
部局へ今度は返した？

宮城：駐車場問題と同じ？

局長：言ったところに

宮城：ハト対策

局長：掃除するとのぞかれるからイヤという女性教員の方も
なのでここでまとめてしまうのは

水野：施設課が采配するのは施設課で
でも報告ぐらいいはしてくれた方がいいかと
構成員でもあるし

清水：了解しました

局長：気づいたのは報告・議論

宮城：災害対策マニュアルは3月に出たけれど決まったのですか？

清水：前回の

宮城：持っているのは我々だけ？いつ全体に公表？

清水：消防署

局長：いつ？

清水：8月中旬に

豊島：就業規則に絡むので、過半数代表者にも
合意が必要とあるので説明は